

つながりを誘発するための 仕組みに関する研究

危機管理課

文化スポーツ振興課

市民課

政策情報課

荒井 茂樹

柳澤 陽介

篠原 友貴

久保田 恭平

本日の内容

1

• 研究の背景・目的

2

• 研究概要

3

• 研究内容

4

• まとめと提案

1 研究の背景・目的

1

• 研究の背景・目的

2

• 研究概要

3

• 研究内容

4

• まとめと提案

1 研究の背景・目的



人口減少

社会構造の変化

つながりの希薄化

地域コミュニティの衰退

1 研究の背景・目的

■ 「人生ゲーム」から見える価値観の変化

平成版
人生ゲーム

お金

令和版
人生ゲーム

フォロワーの数

1 研究の背景・目的

■ 「コミュニティーデザイン」



地域計画や施設整備、事業計画などを、そこに住む人達が一緒になって考えることで人がつながる仕組み

1 研究の背景・目的

■ 「コミュニティ大作戦会議」 （平成31年4月、（公社）中野青年会議所主催）

アンケート 結果

活動内容を地域に伝えきれていない

活動力の低下

他の団体との連携・つながりを求めている

1 研究の背景・目的

■人との「つながり」は

まちの活性化や課題の解決に寄与する大きな要素
「市民参加と協働のまちづくり」を推進する原動力

**「つながり」を誘発する仕組みを
見出したい！！**

1 研究の背景・目的

■研究の目的

市内の様々な市民活動団体が
他団体等とつながるために
必要な仕組みを明らかにする

1 研究の背景・目的

■「つながり」の定義

実社会における対話を通じて、互いの思いや活動を共有し、継続的な交流の場を持つことができる関係

■対象

特定の目的をもって活動する市民活動団体等

1 研究の背景・目的

仮説

「つながり」を誘発するためには
場所と仕組みが必要ではないか？

アプローチ

ハード（場所）とソフト（仕組み）の
両面から検討する

2 研究概要

1

• 研究の背景・目的

2

• **研究概要**

3

• 研究内容

4

• まとめと提案

2 研究概要

調査 内容

1. 他市における市民活動団体への支援に関する調査

調査対象：県内19市

2. つながる場に必要要素に関する調査

調査対象：市内市民活動団体

3. 先進事例調査

調査対象：場を提供している他市施設

4. 市内先進事業者調査

調査対象：市内で場を提供している事業者

3 研究内容

1

• 研究の背景・目的

2

• 研究概要

3

• **研究内容**

4

• まとめと提案

3 研究内容

■ 1. 他市における市民活動団体への支援に関する調査

目的

他市の取り組み状況と効果をアンケートにより調査する。

対象

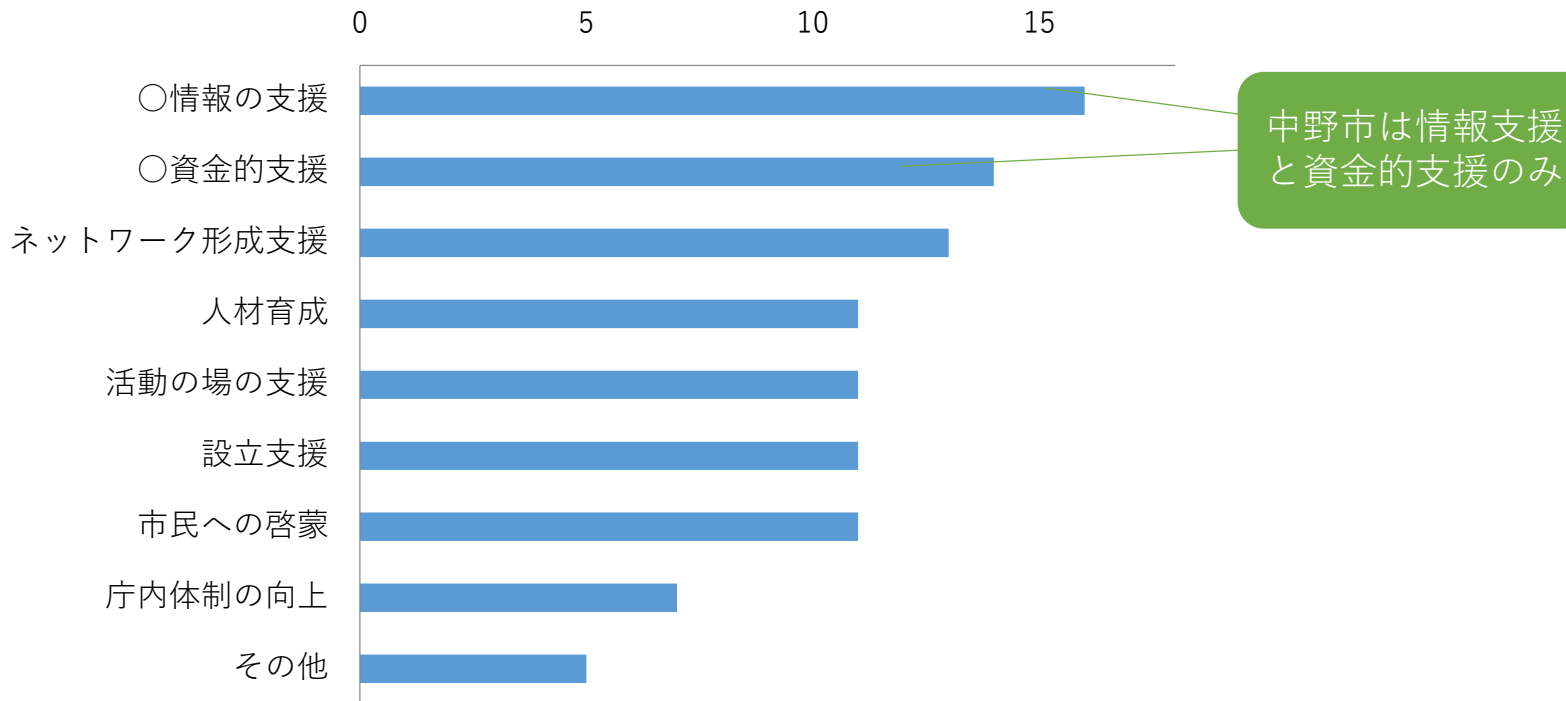
県内19市

回答数

県内19市（回答率：100%）

3 研究内容

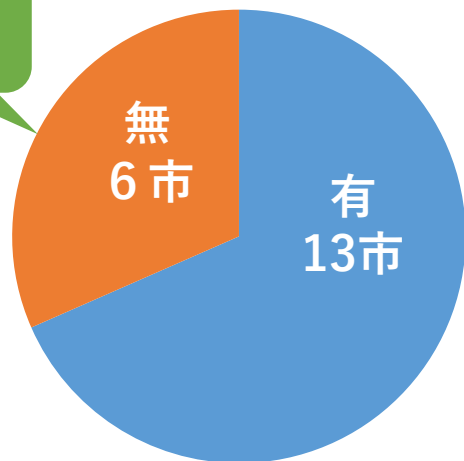
■ 市民活動を推進するために実施している事業



3 研究内容

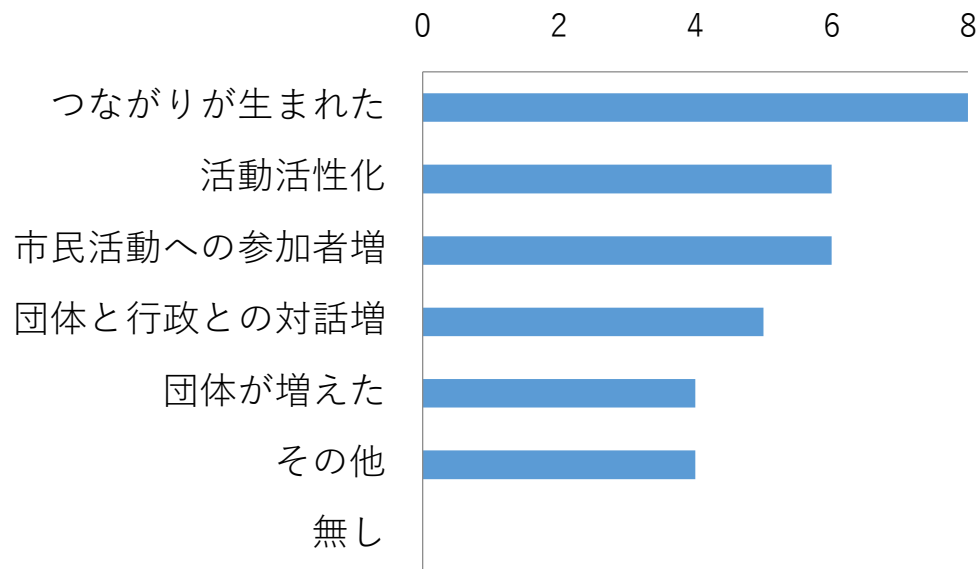
■ 市民活動団体を支援する場の設置状況とその効果

設置状況



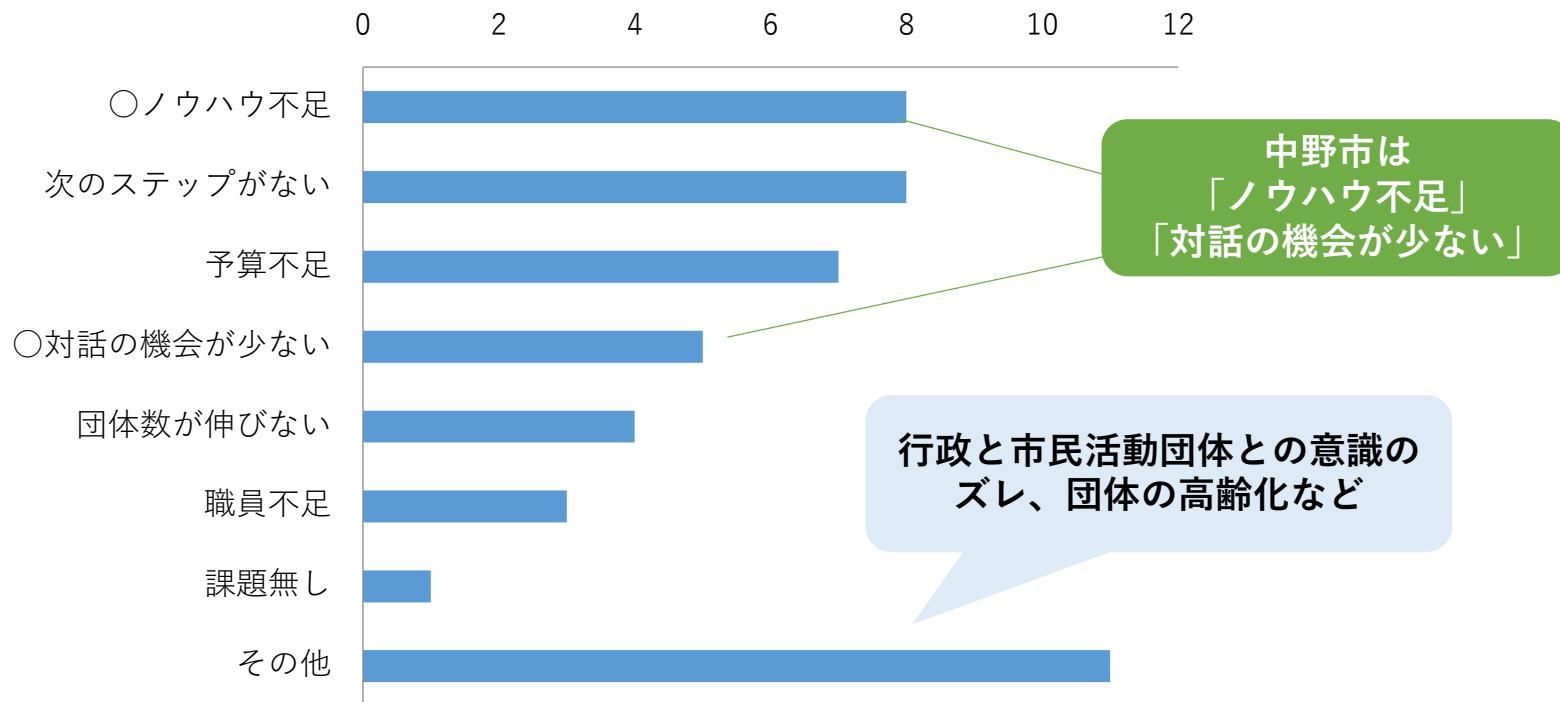
中野市は
未設置

設置による効果



3 研究内容

■ 市民活動団体を支援するうえでの課題



3 研究内容

■ 調査結果に対する考察

- 場の設置により「つながり」が発生
 - 利用者ニーズは増加傾向
 - 専門性を持った者による運営が必要
 - 団体の方々が集まれる場所が必要
-
- 当市は他市に比べ、市民活動サポート体制が不足している

3 研究内容

■ 2. 市内における団体・コミュニティへのつながりに関する調査

目的

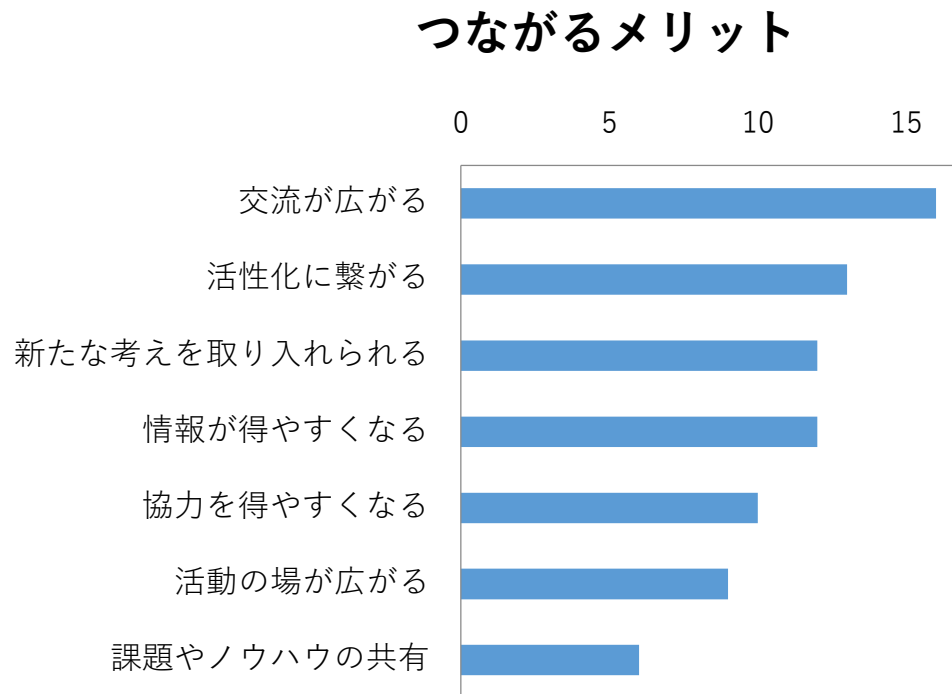
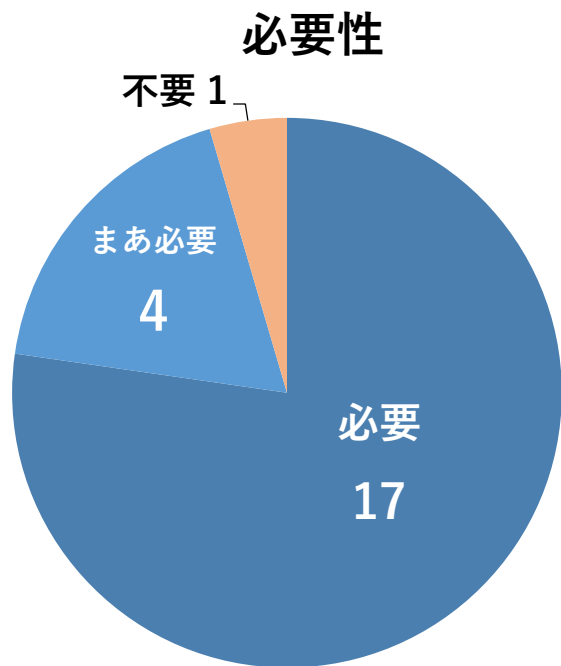
市民団体等が他団体とつながるために
場に求めることを明らかにするため

回答数

22人（17団体）

3 研究内容

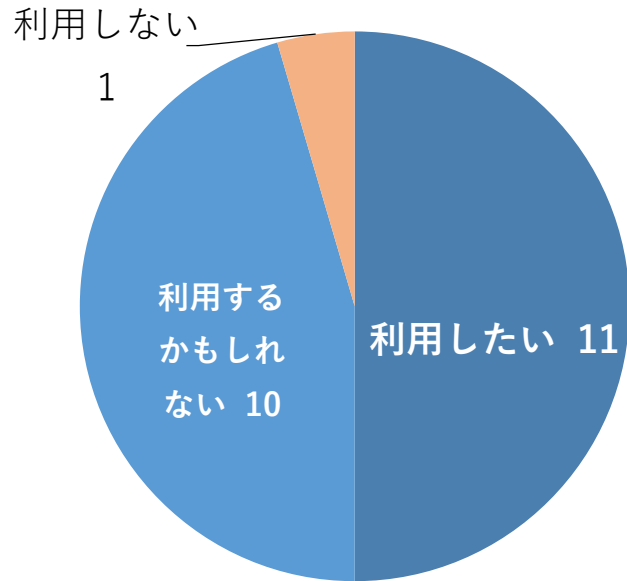
■他の団体とのつながりの必要性とメリット



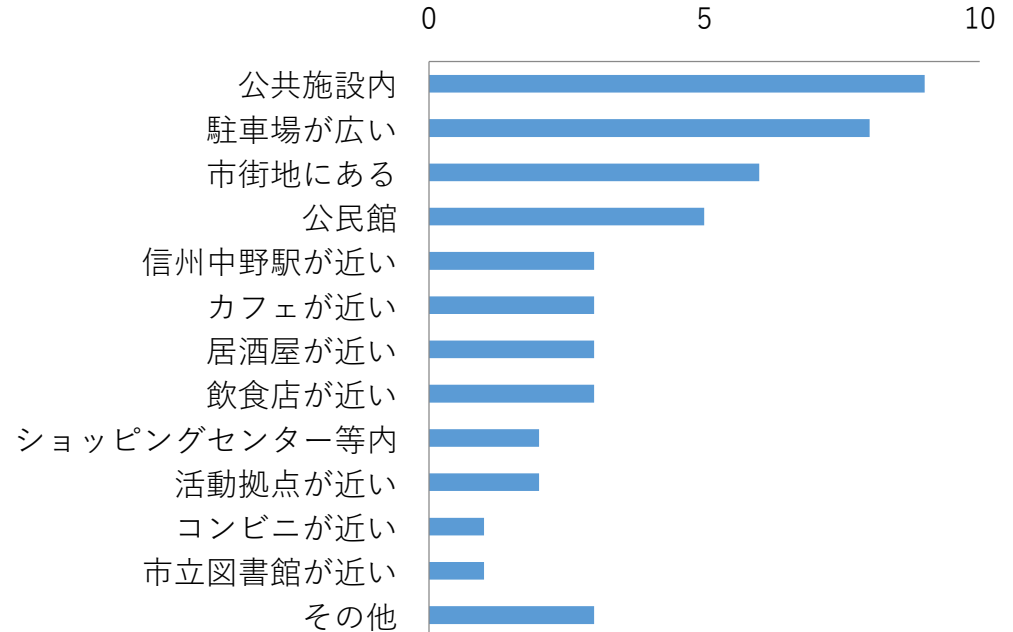
3 研究内容

■ 市民活動用スペースを利用したいか / 立地は

利用したいか



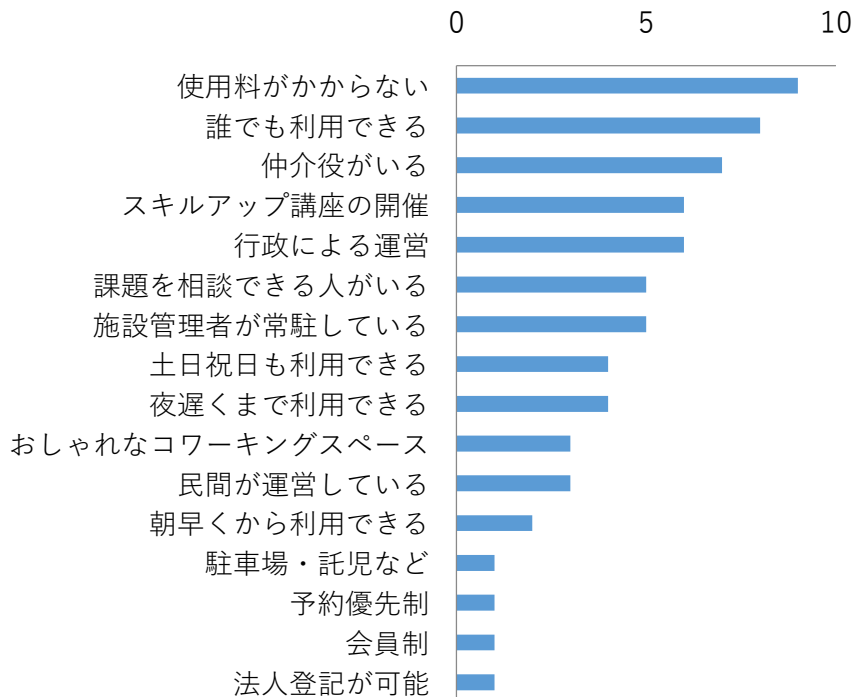
立地条件



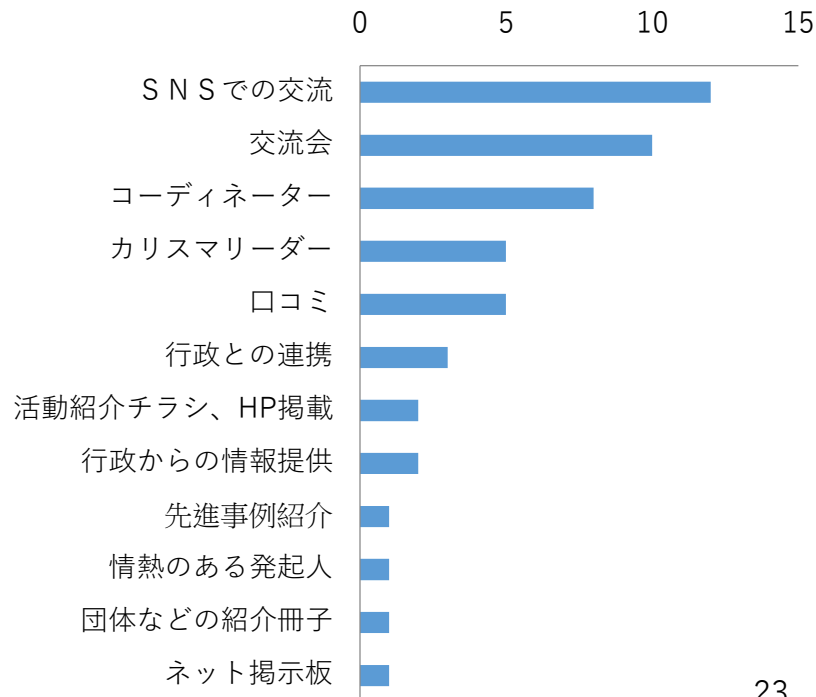
3 研究内容

■条件／場以外に必要なもの

条件



場以外に必要なもの



3 研究内容

■調査結果に対する考察

- ・ 場 団体のニーズ有り
- ・ 立地 公共施設 × 駐車場 × 市街地
- ・ 条件 交流 × 専門的知識を持つ人材の配置

3 研究内容

■ 3. 先進地視察

視察先

- ①諏訪市（駅前交流テラスすわっちゃお）
- ②塩尻市（北部交流センターえんてらす）
- ③安曇野市（市民活動センター）

目的

つながりを生んでいる場や取り組みの先進事例を学ぶため

3 研究内容

■ 諏訪市

駅前交流テラスすわっちゃお

- ✓ 建物のコンセプト
 - ・ 多世代が集まる場所
 - ・ 多機能・多目的なスペース
- ✓ 営利的なイベントも開催可能
- ✓ 職員自らがイベントの企画



3 研究内容

■塩尻市

北部交流センターえんてらす

- ✓ 建物のテーマ
「子ども」を核としたつながり
- ✓ 支所、公民館等をまとめた複合施設
- ✓ 通路 = 交流スペース
⇒つながりを誘発



3 研究内容

■安曇野市 市民活動センター

- ✓ 区×市民活動団体・N P Oの連携
(例：区×福祉事業所)
- ✓ 区における活動力の強化
(区長を対象とした研修会など)
- ✓ 情報共有の場の提供
(情報コーナーの設置)



3 研究内容

■調査結果に対する考察

- ✓ 場の提供により、多様な世代の利用者が集まり、「つながり」のきっかけとなる
- ✓ 「惹きつける魅力」を提供することで継続的に人が集う

3 研究内容

■ 4. ヒアリング調査

概要

市内で場を提供している事業者への
ヒアリング調査

目的

提供している立場としての考えや課題を
明らかにするため

対象

市内事業者 1 者

3 研究内容

■ヒアリング結果

- ✓ 利用者に目的やメリットがなければ、場があっても人は集まらないのではないか
- ✓ 多様な世代がつながるうえで、公共施設内というのは安心感がある
- ✓ 情熱のある人が運営を行うことで継続的に人を惹きつける魅力につながる

3 研究内容

1

• 研究の背景・目的

2

• 研究概要

3

• 研究内容

4

• **まとめと提案**

4 まとめと提案

「つながり」を創出する2つのアプローチ

ハード面

- 場の提供

ソフト面

- 様々なプログラムの展開

4 まとめと提案

場の提供（ハード面）

■設備

- ✓ 会議室、W I - F I、フリースペース、キッチン等の整備

■立地

- ✓ 市街地の公共施設内
- ✓ 既存施設のリノベーションなどで対応
（中央公民館、市民会館など）

<財源>

- ・地方創生拠点整備交付金
- ・公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化事業）など

4 まとめと提案

様々なプログラムの展開（ソフト面）

- ✓ コーディネーターの配置
- ✓ コミュニティデザイン手法の活用（100人会議など）
- ✓ 交流会の開催（コミュニティ大作戦など）
- ✓ スキルアップセミナーなどの開催
（情報発信、価値創造など）
- ✓ 情報共有の場の提供（SNS、掲示板など）

4 まとめと提案

つながる
仕組み

魅力ある場
×
魅力ある様々なプログラム

みんながつながる 中野市を目指します

中野市
政策研究所

Nakano City Policy Institute



